KENWOOD

KBX-P51

IP 無線機

取扱説明書
(安全上のご注意)

お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用前にこの「取扱説明書（安全上のご注意）」と「取扱説明書 (基本編)」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られる場所に保管してください。
本機は日本国内専用のモデルですので、国外で使用することはできません。

操作方法や製品の詳しい説明については、「取扱説明書 (詳細編)」をご覧ください

本書はご使用にあたっての安全上のご注意を説明しています。
各種操作・機能の設定や「故障かな？と思ったら」など、詳しい使い方については、下記のURL、または右記のQRコードからアクセスできる「取扱説明書 (詳細編)」をご覧ください。

https://manuals.jvckenwood.com/

株式会社 JVCケンウッド

B5A-4954-00 (J)

説明上の注釈表記について

このマークが付いた注釈は、使用上での注意事項が記載されています。

このマークが付いた注釈は、使用上での補足事項が記載されています。

免責事項について

◆本機の故障・誤動作などにより、利用の機会 (通話など) を逸したために発生した障害などの付随的損害については、弊社は一切その責任を負いかねます。

◆お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

株式会社 JVCケンウッド

〒 221-0022　神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

- 商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。
- 修理などアフターサービスについては、弊社ウェブサイトをご覧いただくか、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
  URL https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html

ＪＶＣケンウッド カスタマーサポートセンター

固定電話からは、フリーダイヤル	0120-2727-87
携帯電話からは、ナビダイヤル	0570-010-114
一部の IP 電話など、フリーダイヤル、ナビダイヤルがご利用になれない場合は	045-450-8950
FAX を送信される場合は	045-450-2308

住所　〒 221-0022　神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12
受付日　月曜日～土曜日 (祝祭日および、弊社休日を除く)
受付時間　月～金曜日 9: 30 ～ 18: 00
土曜日　9: 30 ～ 12: 00、13: 00 ～ 17: 30

安全上のご注意

絵表示について

この「安全上のご注意」には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。ご使用の際には、次の内容 (表示と意味) をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠ 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	禁止 (してはいけないこと) を示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。
	水が掛かる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	指示に基づく行為の強制 (必ず実行していただくこと) を示す記号です。
	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

⚠危険

使用環境・条件

- 引火、爆発の恐れがありますので、プロパンガス、ガソリンなどの可燃性ガスの発生するような場所では使用しないでください。
- 運転しながら無線機を操作 (通信) するのはおやめください。安全な場所へ車を停車させてから操作 (通信) してください。

バッテリーパックの取り扱いについて

バッテリーパックは下記のことをお守りいただけない場合、けがやバッテリーパックの漏液、発火、発熱、破裂させる原因となります。

- バッテリーパックを電磁調理器の上に置いたり、電子レンジや高圧容器に入れたりしないでください。
- 充電温度範囲は、5℃～ 40℃です。この温度範囲以外では充電しないでください。
- 指定以外の充電台では充電しないでください。
- 無線機以外の機器に取り付けないでください。
- 火の中に投入したり、加熱したり、ハンダ付けしたり、分解したり、SIM カードを取り外したりしないでください。
- 濡れた無線機とバッテリーパックを充電しないでください。
  火災や感電の原因となります。
- バッテリーパックの交換時は指定された製品以外を使用しないでください。爆発の危険性があります。
- 端子を針金などの金属類でショートさせないでください。また、ネックレスやヘアピンなどの金属物と一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
- バッテリーパック内部の液体が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。
- バッテリーパック内部の液体が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害をおこすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

⚠警告

使用方法について

- オプション機器は指定された製品以外を使用しないでください。指定機器以外を使用すると誤動作や故障の原因になります。
- エアバッグ装置の近くに無線機を置かないでください。エアバッグ装置が作動したときなど装置が体に当たってけがをすることがあります。
- 機械に巻き込まれる恐れのある場所では、スピーカーマイクロホンなどのケーブルを首に掛けないでください。けがの原因となります。
- 無線機の近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・やけど・感電・故障の原因となります。
- アンテナやストラップを持って、無線機を振り回さないでください。人に当たってけがを負わせたり、ものに当たって装置が破損したりすることがあります。
- アンテナを誤って目にささないようにご注意ください。
- アンテナ端子に触れているときに送信しないでください。高周波やけどの原因となります。
- ネックストラップを使用している場合、ネックストラップがドアや機械などに挟まれないように注意してください。けがの原因となります。
- ぐらついた台の上や傾いたところ、振動の多い場所には置かないでください。
  落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 落下などにより破損した部品には直接触らないでください。けがの原因となります。
- 高温になる場所 (火のそば、暖房機のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内ヒーターの吹き出し口など) で使用、保管、放置しないでください。
  火災、やけど、けがの原因となります。
- 本機の付属品や、本機から取り外したものを幼児、子供の手の届くところに置かないでください。 誤って飲み込むおそれがあります。 万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。
- 煙が出たら、やけどに注意してすぐに電源を切り、電池を外し、充電中は電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 内部に水や異物が入った場合や、落としたり、ケースを破損したりした場合、または異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがしたりするなどの異常な状態になった場合は、そのまま使用すると、火災・やけど・感電・故障の原因となります。
- 雷が鳴り出したら、安全のため早めに電源を切り、充電中は電源プラグをコンセントから抜いて、ご使用をお控えください。
- 無線機のケースは開けないでください。感電・けが・故障の原因となります。
  内部の点検・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。お客様による修理は、危険ですから絶対におやめください。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部分から本機を 15 cm 以上離して携行および使用してください。
  電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。
- 自宅療養などにより医療機関外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
  電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。
- 身動きが自由に取れないなど、周囲の方も 15 cm 未満に近づくおそれがある場合には、事前に本機の電源を切ってください。
  付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器をご使用中の場合があります。
  電波による影響で医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。
- 医療機関内における本機の使用については、各医療機関の指示に従ってください。
  電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

⚠注意

使用環境・条件

- 電子機器 (特に医療機器) の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。
- 空港施設、鉄道施設、港湾、病院などの管理区域に指定されている場所での無線機の使用については、各施設管理者にお問い合わせ、ご確認したうえでご使用ください。
- 本機を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。
- テレビやラジオ、パソコンの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。
- 本機の上に乗ったり、重いものを置いたりしないでください。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- 結露した場合は、自然乾燥させるか、長い時間同じ環境に置くなどして、結露がなくなってからご使用ください。
- マイクの開口部やスピーカーグリルに水が入ると、音声レベルが不安定になったり歪んだりすることがあります。無線機を操作する前に、無線機を軽く振って、スピーカーやマイクから水を取り除いてください。

使用方法について

- ベルトフックに指をはさまないようにご注意ください。
- スピーカー / マイク端子には指定されたオプション以外は接続しないでください。
  故障の原因となることがあります。
- 乾燥した部屋やカーペットを敷いた廊下などでは静電気が発生しやすくなります。このような場所では、イヤホンを使用したときに静電気で耳の皮膚に電気ショックを感じることがあります。静電気が発生しやすい場所ではイヤホンを使用しないか、スピーカーマイクロホンをご使用ください。
- 長期間使わないときやお手入れの際は、安全のため、電源を切り、電池を外してください。
- イヤホンを使用するときは、音量を上げすぎないでください。聴覚障害の原因となることがあります。
- スピーカーマイクロホンなどを無線機に接続している場合は、音量を下げてください。
- バッテリーパック接続端子の清掃には、ウェットティッシュは使用しないでください。ウェットティッシュを使用して清掃すると接触不良の原因となる場合があります。
  接続端子の清掃には、乾いた綿棒を使うか、綿棒などに無水エタノール (無水アルコール) を少量含ませて、端子が変形しないようにやさしく拭いてください。
  無水エタノール (無水アルコール) は薬局・薬店で市販されています。
- バッテリーパック接続端子以外の外観などで汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をご使用ください。シンナーやベンジン、アルコールは使用しないでください。
- 無線機は、充電動作中にバッテリーパックの温度が高くなる場合があります。
  バッテリーパックを交換するときは、十分気を付けて取り外してください。
- 無線機を長時間使用すると、本体の金属部分が熱くなる場合があります。
  バッテリーパックを交換するときなどは、金属部分には手を触れないでください。

◆充電台など別売りの外部機器使用時の注意については使用する機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

保証とアフターサービスについて

保証書 (別添)

この製品には、保証書を (別途) 添付しております。保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より **2 年間**です。
付属品は初期不良を除き保証対象外です。

修理を依頼されるときは

「取扱説明書 (詳細編)」に掲載されている「故障かな？と思ったら」で解決できる場合があります。それでも異常があるときは、製品の電源を切って、お買い上げの販売店または JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
修理に出された場合、設定された項目がリセットされる場合がありますので、別途お客様ご自身でお控えくださいますようお願いいたします。また、本機の故障、誤動作、不具合などによって通話などの利用の機会を逸したために発生した損害などの付随的損害につきましては、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

保証期間中は・・・

正常な使用状態で故障が生じた場合、保証書の規定に従って修理させていただきます。修理に際しましては、保証書をご提示ください。
本機以外の原因 (衝撃や水分、異物の混入など) による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後は・・・

お買い上げの販売店または JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有償にて修理いたします。

持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

修理料金の仕組み

(有償修理の場合は下記の料金が必要です。)

技術料	：	製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業に掛かる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	：	修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材などを含む場合があります。
送料	：	郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などをおこなうにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

ご使用の前に

ご使用上のご注意

- 施設の管理などにより、無線機の使用が禁止されているところでは、本機を使用しないでください。
- 「Wi-Fi®」および Wi-Fiロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- USB-C™ および USB Type-C™ は USB Implementers Forumの登録商標です。
- その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

工事設計認証について

- 本機は電波法および電気通信事業法に基づいて、特定無線設備の工事設計認証および設計認証を取得した、IP無線機です。本機を分解・改造して使用することは、法律で禁止されています。また、本機背面に貼られている認証ラベルは、はがさないでください。
- 本機は付属するアンテナを含めて工事設計認証を取得しています。付属品のアンテナを加工したり、付属品以外のアンテナを取り付けて使用すると、電波法違反で罰せられる場合がありますので、ご注意ください。

Bluetooth® の現品表示について

本機背面に貼られているラベルに記載の、Bluetooth 機能に関する表示について説明します。

2.4FH4
▬▬▬

「2.4」　：2.4 GHz 帯を使用する無線設備を表します。
「FH」　：変調方式を表します (FHSS: 周波数ホッピング・スペクトラム拡散方式)。
「4」　：想定干渉距離を表します (40 m 以下)。
「▬▬▬」：全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア局の帯域を回避可能であることを意味します。

Bluetooth 機能による電波干渉についてのご注意

本機の Bluetooth 機能を使用するときは、下記の内容についてご注意ください。

- Bluetooth に使用される 2.4 GHz 帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局 (免許を要する無線局) および特定小電力無線局 (免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア局が運用されています。

本機の Bluetooth 機能を使用する場合は、上記の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、下記の事項に注意してください。

- 本機の Bluetooth 機能をオンする前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、2.4 GHz 帯のアマチュア局など (以降「他の無線局」という) が運用されていないことをご確認ください。
- 万一、本機の Bluetooth 機能により「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本機の使用場所を変更するか、本機の Bluetooth 機能をオフしてください。
- その他、本機の Bluetooth 機能により「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生するなどお困りの場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG,Inc.が所有権を有します。株式会社JVCケンウッドは使用許諾のもとでこれらのマークおよびロゴを使用しています。

無線 LAN（Wi-Fi）の現品表示について

本機背面に貼られているラベルに記載の、無線 LAN（Wi-Fi）機能に関する表示について説明します。

2.4DS/OF4
▬▬▬

「2.4」　：2.4 GHz 帯を使用する無線設備を表します。
「DS」　：変調方式を表します(DS-SS 方式)。
「OF」　：変調方式を表します(OFDM 方式)。
「4」　：想定干渉距離を表します (40 m 以下)。
「▬▬▬」：全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア局の帯域を回避可能であることを意味します。

無線LAN（Wi-Fi）機能による電波干渉についてのご注意

本機の無線 LAN（Wi-Fi）機能を使用するときは、下記の内容についてご注意ください。

2.4 GHz 無線LAN（Wi-Fi）使用上の注意事項

- 本機が使用できるチャネル番号は Ch1 ～ Ch13 です。
- 無線 LAN（Wi-Fi）に使用される 2.4 GHz 帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局 (免許を要する無線局) および特定小電力無線局 (免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア局が運用されています。
- 本機の無線 LAN（Wi-Fi）機能をオンする前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、2.4 GHz 帯のアマチュア局など (以下「他の無線局」という) が運用されていないことをご確認ください。
- 万一、本機の無線 LAN（Wi-Fi）機能により「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本機の使用場所を変更するか、本機の無線 LAN 機能をオフしてください。
- その他、本機の無線 LAN（Wi-Fi）機能により「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生するなどお困りの場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

5 GHz 無線LAN（Wi-Fi）使用上の注意事項

- 使用上の注意事項と Wi-Fi 規格のロゴは本機の画面に表示して確認できます。本機の【O】キーを押す→【▲】/【▼】キーで「⚙」を選択し、【O】キーを押す→【▲】/【▼】キーで「Wi-Fi 規格」を選択し、【O】キーを押すと操作すると使用上の注意事項が表示されます。再度【O】キーを押すと Wi-Fi 規格ラベルを表示します。
- 5 GHz の周波数帯については、5.2 GHz 帯、5.3 GHz 帯、5.6 GHz 帯 (W52,W53, W56) の帯域を使用できます。
  本機が使用できる周波数帯域とチャネル番号は次のとおりです。
  - W52(Ch36, Ch40, Ch44, Ch48)
  - W53(Ch52, Ch56, Ch60, Ch64)
  - W56(Ch100, Ch104, Ch108, Ch112, Ch116, Ch120, Ch124, Ch128, Ch132, Ch136, Ch140, Ch144)
- 電波法により W53 は屋外および自動車内での利用は禁止されています。
- W52 を自動車内や屋外で使用されるには条件を満たす必要があります。お客様の目的に応じた最新の利用条件を総務省のサイトでご確認の上、ご使用いただけますようお願いいたします。
- 本機は無線 LAN（Wi-Fi）端末（子局）です。

総務省 電波利用ポータルサイト：
https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/others/wlan_outdoor/

IP 無線機本体の比吸収率（SAR）について

本製品は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。この技術基準は、携帯型端末などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが 2 W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値には、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。

本製品の値は最大 0.566 W/kg（10 g）です。この値は、国が定めた方法に従い、携帯型端末の使用状態で最大に近い条件で測定された結果であり、製品の設計において SAR 値が許容値を超えないようにすることはもちろん、通常の使用状態においても、実際に測定している状態では、通常 SAR はより小さい値となります。SAR について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
https://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
https://www.arib-emf.org/index.html

※技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第 14 条の 2）で規定されています。

ファームウェアの更新について

- ネットワークを利用して、本機のファームウェア更新が必要かどうかを確認します。更新可能なファームウェアがある場合、自動的にダウンロードされます。データのダウンロード後に本機の電源を切り、再度電源を入れると、ファームウェア更新の選択画面が表示されます。選択画面で【O】（確定）キーを押すと、ファームウェアの更新が開始されます。【⮌】（戻る）キーを押すと、通常の操作画面に戻ります。
- 確認および更新には、通信料はかかりません。ファームウェアのダウンロード中も本機を使用できます。
- ファームウェア更新には、3 分程度かかる場合があります。更新が完了するまで、本機は使用できません。
- ファームウェア更新中は LED が緑に点灯します。
- ファームウェア更新を開始する前に電池残量が十分かご確認ください。電池残量が不足している場合はメッセージが表示されますので、充電後に再度開始してください。
- ファームウェア更新は電波状態のよいところで、移動せずに行ってください。
- ファームウェア更新中に絶対にバッテリーパックを取り外さないでください。更新が失敗することがあります。
- ファームウェア更新に失敗すると、本機が使用できなくなることがあります。その場合はお買い上げの販売店もしくは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご連絡ください。
- ファームウェア更新の操作について詳しくは、「取扱説明書（詳細編）」をご覧ください。

防塵 / 防水性能について

本機はオプション接続端子および USB Type-C™ 端子の防水キャップを、隙間のないように正しく取り付けた状態で弊社指定のバッテリーパック (KNB-88L) を装着することにより、IPX8※1 の防水性能と、IP6X※2 の防塵性能を有しています。

※1 IPX8 とは、常温で水道水、かつ静水の水深 1 m のところに無線機を静かに沈め、2 時間放置後、取り出したときに無線機としての機能を有することを意味します。
※2 IP6X とは、保護度合いを指し、直径 75 µm 以下の塵埃 (じんあい) が入った装置に無線機を 8 時間入れてかくはんさせ、取り出したときに無線機の内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。

- 本製品は設計段階において該当する防塵 / 防水性能の試験をおこないその性能を確認しておりますが、実際のご使用にあたって、すべての状況で防塵 / 防水性能を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められたときは、保証の対象外となりますのでご了承ください。
- 本機の防水性能は真水環境にてのみ性能を保証しております。塩水が掛かる環境でのご使用は 無線機の腐食の原因になり、防水性能の保証はできません。
- 水中での使用 (各種操作キーの押下など) は IPX8 の保証対象外となります。
- ナット付きのオプションを使用する場合は、プラグを確実に取り付けてからナットで固定してください。また、取り付ける際には、微細なゴミ (微細な繊維、髪の毛、砂など) をはさんでいないか、ご確認ください。
- 石鹸水、洗剤、調味料、ジュース、海水、油など水道水以外のものを掛けたり、浸けたりしないでください。また、高温のお湯に浸けたり、掛けたりしないでください。
- 本機の汚れを落とす際は、水に浸けたり、蛇口からの水や湯を直接当てたりしないでください。
- 本機が濡れているときは外部マイクロホン端子および USB Type-C™ 端子の防水キャップを開けないでください。
- マイクロホンやスピーカーグリルに水が入ると、音声が小さくなったり歪んだりすることがあります。本機を操作する前に、軽く振ってスピーカーやマイクから水を取り除いてください。
- オプション自体の防塵 / 防水性能は各オプション製品により異なります。
- 充電台や AC アダプターは防塵 / 防水仕様ではありません。本機が濡れている状態では使用しないでください。
- 本機に衝撃を与えた場合は、防塵 / 防水性能に影響を与える場合があります。

防水性能を維持するため、2 年に 1 度の定期点検 (有償)をおすすめします。

本機の付属品

付属品がすべて揃っていることをご確認ください。

アンテナ……1
ベルトフック……1
ベルトフック取り付けねじセット……1
取扱説明書 (基本編)……1
取扱説明書 (安全上のご注意)……1
保証書……1

◆付属品の保証期間は、無線機本体の保証期間と異なります。詳細は「保証とアフターサービスについて」をご覧ください。

オプションについて

本機のオプションについては、弊社ホームページをご覧ください。

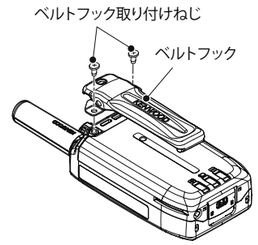
https://www.kenwood.com/jp/pro/com/ip-transceiver/products/kbx-p51/option/

ベルトフックの使いかた

ベルトフックの取り付け

ベルトフックと本体のねじ穴を合わせて、付属のねじで取り付けます。
ベルトフックを本体のねじ穴に合わせて、ねじが緩まないようにしっかり取り付けてください。

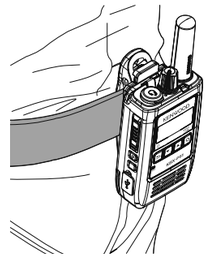
- 付属以外のねじを使用しないでください。
- 時々ねじの緩みがないか確認してください。



ベルトフックを使用した持ち運び

本機の電源を入れて使用している時は、必ずベルトフックで本機をベルトに取り付けた状態で持ち運んでください。

電源を入れたままポケットやかばんの中などに入れて、持ち運ばないようにご注意ください。



© 2026 JVCKENWOOD Corporation